

普及活動情勢報告（令和元年 1 1 月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

ニラの調製作業を効率的に！！作業を見直し「カイゼン」中



今年5月から香美市のニラ農家を対象として、調製作業の効率化に取り組んでいます。農業改良普及課は、カイゼンアドバイザーからの作業手順の変更や動作作業のムダの解消、作業レイアウトの変更等のアドバイスを参考にして、具体的な改善策を提案しながら、カイゼンを支援してきました。

11月1日、7日には、機器の使用方法やコンテナの運搬方法の改善を提案するとともに、そぐり作業から作業手順やポイントを聞き取るなどして、そぐり作業の標準化マニュアルを作成しました。

今後、農業改良普及課は、農家と話し合いながら、これまでのカイゼン取組結果の検証を行いつつ、さらなる改善提案による作業カイゼンを進めます。

青年農業士中央東ブロック協議会が管内野菜を県外でPR！！



11月12日、管内青年農業士による県外PR活動として、料理教室が大阪中央青果(株)で開催されました。

料理教室には大阪の一般消費者17名が参加し、10名の青年農業士が自らの野菜のこだわりなどをプレゼン形式で伝えた後、参加者と一緒に調理・食事をし、情報交換を行いました。

農業改良普及課は、県大阪事務所などと協力し、「部会などでPRしきれていない客層にアピールしたい」という農業士の意向を踏まえ、一般の方向けの料理教室開催を支援しました。

参加者からは「生産者と話ができるのはすごく良い企画だと思う、またやって欲しい」などの感想が聞かれ、青年農業士らは「高くても品質の良いものを選んで買ってくれそうな参加者が多かった」と管内野菜のPRに手応えを感じた様子でした。

農業改良普及課は、青年農業士の活動をこれからも支援します。

南国市の土地利用型園芸農業振興のために～露地園芸向け農業機械実演会を開催～



11月19日、南国市土地利用型園芸農業研究会主催の農業機械実演会が開催され、生産者20名のほか、JAなど関係機関も多数参加しました。当日は自動操舵機能付きトラクタ、自動移植機、排水対策機材やドローンなど、国営ほ場整備後の大規模園芸農業を想定した実演が行われ、参加者は作業性や性能の確認、メーカーへの質問等をしていました。

農業改良普及課は、関係機関とともに実演計画の検討等開催を支援しており、今後も研修会や先進地調査など生産振興につなげる活動を支援していきます。

高品質なフルーツトマトの出荷に向けて～部会現地検討会を開催～



11月6日、JA高知県香美地区フルーツトマト部会が今年最後の現地検討会を開催し、生産者14名が参加しました。

農業改良普及課は、高糖度果出荷に向けた温度管理やかん水管理について説明し、各ほ場では生産者同士の意見交換を促しました。生産者からは「ハウスのサイドは閉め切らないようにしている」、「摘葉はどのくらいが良いか」等、生育状態を比較しながら積極的に質問や意見が出されました。

農業改良普及課では、今後も現地検討会や目慣らし会の開催を支援し、フルーツトマトの生産拡大を図っていきます。

やっこねぎ部会「総会」（夏期安定生産対策）を開催



10月23日、JA高知県香美地区やっこねぎ部会は、夏期安定生産対策講習会を開催し、生産者136名が参加しました。

JAからは夏期安定生産のため出荷方法の改善対策の説明、優良生産者の表彰が行われ、農業改良普及課からは夏期安定生産技術として機能性被覆資材の試験結果を報告しました。参加者からは、夏場の葉先枯れ対策や、灌水管理等について多くの発言があり、活発な意見交換が行われました。

今後、農業改良普及課では、周年安定生産、出荷量維持のために、技術・組織面の強化に向けて支援していきます。

直販所やすらぎ市「キッチンマーメイド」の取り組み



10月24日、香南市の直販所やすらぎ市の「キッチンマーメイド」は、加工場委員会を開催し、関係機関を含め11名が出席しました。

農業改良普及課は、加工製造販売計画の作成支援や実績の確認等の支援を行っています。今回は、今年度の9月までの製造販売実績、現在は製造中止になっている「地元食材を使う」コンセプトに基づき開発された人気商品の限定販売や新商品の案、利益を上げていくためには、個々の商品の原価の再計算が必要であること等について検討しました。

農業改良普及課は、地元食材を使うコンセプトに基づいた商品の充実や地域の活性化に向けた取り組みを支援します。